

22a プロジェクトチームの現場力向上 ～プロジェクトのファシリテーション～

主催者 (一社)長崎県情報産業協会

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場※	出島交流会館(住所:〒850-0862 長崎市出島町2-11)
・講師	麻生教育サービス株(AES)講師: 山口 新吾
・開催月日	2023年3月15日(水)・16日(木)・17日(金)
・実施時間・日数	9:30 ~ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	78,800円
・教材料(税別)	5,000円

※研修会場は変更する場合がありますので最新情報はNISAホームページでご確認下さい。

2. 対象者

プロジェクトリーダー、これからプロジェクトを管理していく方。

3. カリキュラムの概要

若手からベテランまで、すべてのメンバが、協力し合って創発的に成果を出し、このチームでもう一度働いてみたいと思わせるようなチーム作りの方法を習得します。

1.プロジェクトの現場を取り巻く環境、2.注目される「現場力」、3.成功するプロジェクトを増やすには、4.プロジェクトマネジメントに求められるスキル、5.現場力向上に役立つ理論～モチベーション編～、6.現場力向上に役立つ理論～コミュニケーション編～、7.現場力向上に役立つ理論～リーダーシップ編～、8.現場力向上の実践

4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

	科目	時間	科目の内容
3 月 15 日	0.オリエンテーション	0.5hr	●プロローグ ●自己紹介
	1.プロジェクトの現場を取り巻く環境	1.0hr	●システム開発PJを取り巻く環境 ●経営の中で“ヒト”への関心の高まり ●様々な人々から構成されるチーム ●ワークライフバランスの必要性
	2.注目される「現場力」	1.0hr	●“現場力”で注目される企業 ●個が輝き響き合うチームの要素 ●現場力による差別化が競争力を生み出す ●現場力が浸透すると・・・
	3.成功するプロジェクトを増やすには	0.5hr	●成功プロジェクトを増やすには ●マネジメントと現場力の融合
	4.プロジェクトマネジメントに求められるスキル	1.0hr	●プロジェクトマネージャの役割 ●プロジェクトマネジメントに求められるスキル ●情報を“配る”マネジメント
	5.現場力向上に役立つ理論～モチベーション編～	1.0hr	●モチベーションの基礎理論 ●目標とモチベーション・ ●メンバのやる気を高める5つのステップ ●当事者意識を持たせるための3つのキーワード
	【演習1】モチベーション向上のために	1.5hr	◆演習問題説明／演習／発表
	6.現場力向上に役立つ理論～コミュニケーション編～	0.5hr	●コミュニケーションの流れ ●コミュニケーションの基本モデル

	科目	時間	科目の内容
3月16日	6.現場力向上に役立つ理論～コミュニケーション編～(続き)	0.5hr	●コミュニケーション・バリア ●バーバル/ノンバーバルコミュニケーション ●様々なタイプのステークホルダとの対応
	【演習2】聴く、話す	1.5hr	◆演習問題説明/演習/発表
	【演習3】様々な価値観	1.5hr	◆演習問題説明/演習/発表
	7.現場力向上に役立つ理論～リーダーシップ編～	1.0hr	●リーダーシップの機能 ●サーバントリーダーシップ ●様々なリーダーシップ理論 ●優れたリーダーの共通する4つの戦略 ●ほめると叱る
	【演習4】リーダーシップ	1.5hr	◆演習問題説明/演習/発表
	8.現場力向上の実践	1.0hr	●手法の導入ではなく風土を上げる ●目に入れても痛くないチーム目標を設定する
3月17日	【演習5】チーム目標	1.5hr	◆演習問題説明/演習/発表
	8.現場力向上の実践(続き)	1.0hr	●改善の2つのアプローチ ●朝会、見える化、ふりかえり
	【演習6】ペーパータワー	1.5hr	◆演習問題説明/演習/発表
	8.現場力向上の実践(続き)	1.0hr	●チーム力は作業標準や仕組みに表れる ●ヨコテンでチームの成果を組織の成果に ●発表会でチーム間の相乗効果を狙う
	【演習7】自社でのヨコテン検討	1.5hr	◆演習問題説明/演習/発表
	9.まとめ、総括	0.5hr	●まとめ ●ふりかえり
	計	21.0hr	

※コース改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト

6. 到達目標

ITプロジェクトにおけるファシリテーション能力を身に付ける。

7. 講座レベル

ITSSレベル: 2～3